

令和6年度 スッキーニ 技術情報 No. 4

大船渡農業改良普及センター
電話：0192-27-9918 FAX：0192-27-9936

① 育苗はトンネル保温などで温度を確保し、適切に管理しましょう。



② 土壌分析結果をもとに施肥設計を行いましょう。

③ 圃場準備は定植の1週間前までに行いましょう。

④ 定植後は活着まで株元かん水を行いましょう。

1 定植までのスケジュールについて

作業時期	作業内容	★ポイント★
4月中旬～下旬	播種	
	育苗管理	温度管理
4月下旬～5月上旬	畝立て	地温の確保
5月上旬～中旬	定植	適期苗の定植

2 育苗管理について

トンネル保温などで温度を確保し、以下の表を参考に管理を行いましょう。

生育段階	温度管理
播種～発芽	地温 25～28℃
発芽後	日中気温 20～25℃、最低気温 15℃以上 地温 20℃程度



トンネルで保温



定植適期苗（本葉 1.5 枚）

※セルトレイ育苗では、播種後約2週間で適期苗になります。

3 施肥設計について

施肥量は、土壌診断の結果を参考に適正施肥となるよう心がけましょう。土壌診断を受けていない方は、下記を参考にしてください。

○標準施肥

	成分 (kg/10a)		
	窒素	リン酸	カリ
基肥	12	19	12
追肥	6	1.2	6
合計	18	20	18

○減肥する際の施肥量

	成分 (kg/10a)		
	窒素	リン酸	カリ
基肥	12	-	-
追肥	6	-	-
合計	18	-	-

①標準施肥：窒素、リン酸、カリを標準通り施肥

銘柄	施用量 (kg/10a)	成分値 (%)			施肥成分量 (kg/10a)			備考
		窒素	リン酸	カリ	窒素	リン酸	カリ	
<土壌改良資材> 牛ふんたい肥 粒状てんろタンカル	2000 100							土壌診断を参照
<基肥> そ菜有機オール12号 重過石	100 20	12	12	12	12	12	12	6.8
<追肥> 野菜追肥S535号	40	15	3	15	6	1.2	6	
合計					18	20	18	

②減肥：リン酸、カリが過剰な場合。（窒素のみを施用）

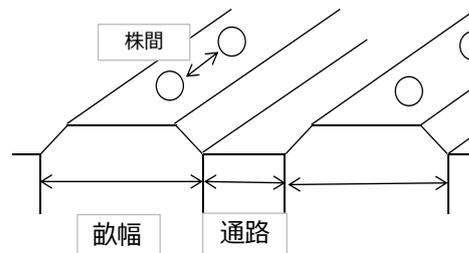
銘柄	施用量 (kg/10a)	成分値 (%)			施肥成分量 (kg/10a)			備考
		窒素	リン酸	カリ	窒素	リン酸	カリ	
<土壌改良資材>		①と同様						
<基肥> CDU態窒素	40	31			12.4			
<追肥> 尿素	14	46			6.4			
合計					18.8			

※畦内施肥にすると施肥量を30%程度削減できます。環境負荷軽減、コスト削減のためにもおすすめです。

4 定植準備について

- (1) **定植前に圃場の排水対策**も確実に実施しましょう。
- (2) マルチ張りは、降雨後など**土壌水分が十分ある状態**で実施しましょう。
 - 土壌水分が不足すると、肥料の溶出が悪くなり、活着不良の原因になります。
- (3) 定植 1 週間前までにはマルチを張りましょう。
 - **定植時の地温を確保する**ことが重要です。

畝設計の目安	
畝幅 (cm)	80
通路 (cm)	100※
株間 (cm)	80



※作業性を考慮して通路幅を広げている事例もあります。

5 定植について

- (1) **本葉 1.5 枚の若苗**（セルトレイ育苗では播種後約 2 週間程度）を植えるのがポイントです。老化苗は根張りが悪く、収量の減少につながります。
- (2) 活着まで**株元かん水**を行いましょう。
- (3) 低温時の定植の際は、トンネル等の被覆を行い、スムーズな活着を促しましょう。



不織布による保温をしている事例

6 病害虫防除について

(1) 「令和7年度 スッキーニ（露地・春まき）防除暦」を配布しています。防除暦に沿って薬剤散布を行いましょう。

(2) アブラムシ類

若葉の裏側、蕾、花に発生し、吸汁加害します。**ウイルス病は、アブラムシ類によって媒介**され、生長点付近の若葉が黄色と緑の鮮やかなモザイク症状を呈します。

防除暦を参考にして、**生育初期から防除**を実施しましょう。また、ウイルス病の発病株は、直ちに除去、処分して、他株への感染拡大を防ぎましょう。



葉裏に寄生したアブラムシ



ウイルス病の罹病株

(3) ウリハムシ

自分の体を中心にして円を描くように葉を食害します。



ウリハムシの成虫



ウリハムシによる葉への食害

(4) 軟腐細菌病（腐敗）

主茎や果実が軟化腐敗し、腐敗した部分に白い菌泥が付着して悪臭を放ちます。

病原細菌は、**土壌中に存在し、高温多湿条件で増殖**します。雨によってほ場に広がり、傷口や害虫の食害痕から植物体に侵入し、被害が発生します。

梅雨前の定期的な防除の徹底と圃場排水・草勢維持に努めましょう。また、**罹病株は速やかに抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分**しましょう。



軟腐細菌病により腐敗した罹病株

(5) うどんこ病

最初は下葉に白い粉をまぶしたようなカビが発生し、のちに上位葉や茎にもみられるようになります。

高温乾燥や草勢低下によって発生しやすいので、草勢の維持に努めましょう。



うどんこ病の病斑

(6) ベと病

20～25℃の多湿条件下では発生しやすいです。

肥切れや成り疲れなどによって、草勢が衰えると発生が増えるため、肥培管理に注意しましょう。



べと病の病斑

★いわてアグリベンチャーネット URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>
岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★3月1日～5月31日は岩手県山火事防止運動月間
野焼きによる山火事に注意しましょう。

令和7年山火事防止運動統一標語 「ふるさとの 山を守ろう 火の手から」